

1、誌上クラス会 「OB会だより」(別紙資料)

今後「OB会だより」と称して2018年4月より「関東緑土会」によりOB訪問先などを選定・企画し掲載しています。

第21回目として「関東緑土会だよりNO21」については

- 1、誌上クラス会「OB会だより」 伊田テクノス株式会社(第2弾) (別紙資料)
- 2、誌上クラス会「OB会だより」 仙台市内OB訪問 20191205 (別紙資料)
- 3、緑土会OB 昭和41年卒業 クラス会(土楽会)だより 20191204 (別紙資料)
- 4、校友会バス旅行 茨城・水戸 緑土会OB参加者だより (別紙資料)
- 5、関東緑土会総会と懇親会の報告(別紙資料)
- 6、「誌上クラス会 訪問先 一覧」毎月更新(別紙資料)

・前は写真のみの紹介でしたが、今回「伊田テクノス株式会社」の伊田登喜三郎さん(昭和49年卒業)より誌上クラス会「OB会だより」の原稿を頂きましたので、ここで紹介します。伊田登喜三郎さんは代表取締役会長としてご活躍中です。

「全建ジャーナル 会員企業紹介 2019.12月号」で伊田テクノス株式会社の記事が、また2019年11月28日付け日刊建設工業新聞に「団体戦 伊田テクノスが3年ぶり優勝」と第40回建設業剣道大会の記事が出ておりましたので合わせて紹介します。

・12月5日に仙台市内ゼネコン各社に在籍している緑土会OB訪問をしました。年末でありお会いできたOBさんは少数でしたが紹介します。

・船越顧問より令和元年12月4日(水曜日)に開催された昭和41年卒業のクラス会(土楽会)だよりの原稿を頂きましたので紹介します。

・校友会で12月7日(土曜日)茨城方面へのバス旅行が開催されました。「茨城県の歴史と自然・海の幸を満喫するバスツアー ～水戸・大洗・那珂湊を巡る小旅行～」緑土会OB6名が参加しておりますので紹介します。

・関東緑土会総会と懇親会が開催されました。年末で皆さんお忙しく出席者は4名です。

会員の皆さんは、職場内、地域、学年ごとのクラス会、研究室のOB会、クラブ活動のOB会など、各種の集まりが開かれて、出席されていると思います。

この集まりは各種組織内での会合のため横の繋がりが弱く広がりが狭いと感じています。

またOB全員の消息が分かっている訳ではなく、仲間の消息を知りたい等の希望もあり、何らかのツールが欲しいとの話も聞こえております。

「OB会だより」は緑土会卒業生・在校生が自由に活用して頂ければと思いますが、「関東緑土会」として積極的に「待ちの姿勢ではなく」OBを訪問し記事を収集・募集・掲載するようしていきたいと思っています。

2、「関東緑土会だより」

(1) 関東緑土会だより

- ・「関東緑土会」の活動を紹介したり、会合の報告をしたり、「OB会だより」の経過・企画説明など、この「関東緑土会だより」にて紹介していきたいと思っています。
- ・**誌上クラス会 「OB会だより」**の訪問時には、以下のことを緑土会OBの皆さんにお願いしています。

- ① 緑土会活動の活性化に向けて「緑土会ホームページ」の紹介とリサーチ依頼
- ② 緑土会総会・懇親会に出席の依頼（今年は11月10日土曜日開催予定）
- ③ 交友会のメール登録のお願い（「都市」やホームページを参考に登録促進）
- ④ 「りょくど」や「関東緑土会だより」への原稿の投稿依頼
- ⑤ 緑土会OBの紹介依頼
- ⑥ その他

(2) 編集後記

皆さんお忙しい中原稿を書いて頂き感謝しております。

学生諸君や入社したての緑土会OBの皆さんに読んでいただいて「緑土会OB会員」が色々なところで活躍していることが情報として伝わり参考になれば幸いです。

今月号までの掲載までで、来月号以降は「総合技術コンサルタント株式会社」「（一般財団法人）港湾空港総合技術センター」「東洋建設株式会社」「東亜建設工業株式会社」「株式会社ビー・ビー・エム」「東京都下水道サービス株式会社」の各社の「緑土会OB会だより」の原稿を頂き次第掲載予定です。

また今後の新規紹介ですが、皆さんより情報を頂ければ、緑土会OBを訪問し順次掲載することを予定しております。

「誌上クラス会 訪問先 一覧」を毎月更新して「別紙資料」として掲載することにしました。ご覧ください。

今後の企画として「緑土会女子OB会」として意見交換会を開催する構想もあります。ご意見いただければ幸いです。

新年度からは、会社訪問を発展させて「現場で活躍をされている緑土会会員の紹介」を今後テーマとして取り上げていきます。緑土会会員の紹介だけでなく、掲載が許される範囲で現場の状況などを誌上にて紹介します。

今後も原稿提供を皆様をお願いしています。よろしくお祈りします。

T・K（昭和47年卒業）

紙上クラス会「OB会だより」

伊田テクノス株式会社
伊田登喜三郎（1974年卒）



昭和49年中岡研究室卒業の伊田登喜三郎です。過日、船越顧問と中山豊彦さんの訪問をいただき、OB会だよりの原稿依頼を受けました。ご二人の了解をいただき、主に会社の紹介をさせていただきます。

私は学校卒業後、わずかな社会勉強を経て祖父が明治時代に創業した、伊田テクノス株式会社（入社当時は（株）伊田組）に入社し、昨年からは社長を退任して代表取締役会長をつとめています。

私は大学では剣道部に所属し、現在も青少年研修道場明德館館長として小学生や成人と剣道を楽しんでいます。大学の稽古にも数年に一度は顔を出す機会がありますが、先日は、第30回学連剣友会剣道大会の65歳以上、第3部団体戦に中村好宏（1976年土木卒）さん、皆川滋（1973年建築卒）先輩と出場し、埼玉大学、立教大学に完勝し大東文化大学に惜敗する3回戦まで進みました。私は難関の剣道八段試験に挑戦をしています。足掛け20年、約連続40回不合格中ですが、埼玉の同年の剣道仲間と一緒に健康法といいながら続けています。

私は、今年から校友会の埼玉支部長を命じられました。力不足ではありますが、緑土会会員の皆様をはじめ多くの学友の皆様のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

総合建設業 人と環境の新しい絆を築く・・・創業明治43年



伊田テクノス株式会社

〒355-0014 埼玉県東松山市松本町 2-1-1 TEL:0493-22-1170(代)

卒業生名簿

	氏名	卒業年	学科	現在の所属
1	伊田 登喜三郎	S49	武蔵工業大学 工学部土木工学科	代表取締役会長
2	柴崎 実	S51	武蔵工業大学 工学部土木工学科	取締役副会長
3	宮岡 一弘	S62	武蔵工業大学 工学部土木工学科	工務部 土木積算課 課長
4	市之瀬 文明	H4	武蔵工業大学 工学部土木工学科	工務部 工務課 専門課長
5	野村 浩規	H14	武蔵工業大学 工学部建築学科	建築部 工事一課 毛呂山出張所 所長
6	江端 克仁	H17	武蔵工業大学 工学部土木工学科	基礎技術部 静岡営業所 所長
7	長倉 広樹	H27	東京都市大学 工学部都市工学科	土木部 工事二課 工事係
8	柳 隼人	H29	東京都市大学 工学部都市工学科	基礎技術部 工事課 工事係



伊田テクノス株式会社

夢ある未来へ……。

創業 **110** 年

会社概要

社名	伊田テクノス株式会社
創業 設立	1910年（明治43年） 1946年（昭和21年）
代表者	代表取締役会長 伊田 登喜三郎 代表取締役社長 檜崎 亘
資本金	1億円（令和元年6月末現在）
本社	埼玉県東松山市松本町2-1-1
事業概要	総合建設業
関連会社	報徳石産（株） 東和アークス（株） 他
従業員数	188名（令和元年6月末現在）
売上高	86億円（令和元年6月末現在）
売上構成	土木：30% 地盤改良：20% 建築：40% 住宅：10%
事業所	支店 1支店 営業所 5営業所 出張所 3出張所





伊田テクノス株式会社

夢ある未来へ……。

創業 **110** 年

治 革

伊田テクノスは、明治43年に創業し、今年で110周年を迎える総合建設業です。

当社発祥の地である埼玉県吉見町および近隣地域は、荒川をはじめとする河川に挟まれ、水害の常習地帯で抜本的な治水工事が急がれていた地域であったことから、初代社長伊田勘三郎が土木業の将来性に着目し創業しました。

その後、昭和21年埼玉県東松山市に株式会社伊田組を設立。昭和62年伊田グループCIを導入、平成6年伊田テクノス株式会社に社名変更し、現在に至っております。

創業時の土木事業に加え、砂利砂採取・建材販売・建築・地盤改良・福祉・太陽光発電など、常に時代の変化に合わせて数多くの事業を手掛け実績を残してきました。

現在、土木・建築・住宅・地盤改良の4部門体制で事業を展開しており、関連会社との共働体制を図り現在グループ全体の売上は約450億円、総社員400名と成っています。



大前門橋（埼玉県吉見町）／昭和4年6月竣工

■ 伊田テクノス 事業部門



経 営 理 念

初代社長より「報徳思想」※を会社経営の基本思想とし、「至誠」「勤労」「分度」「推譲」の4つの考えを精神的支柱としています。

伊田テクノスは、明治43年の創業以来、約1世紀「報徳思想」を経営の基本とし地域社会に必要とされることを常に心に誓い企業活動を営んでいます。

※二宮尊徳が唱えた私利私欲に走ることなく社会に貢献すればいずれ自らに還元されるとの思想。

■ 伊田テクノスの精神的な支柱「報徳思想」





伊田テクノス株式会社

夢ある未来へ……。

創業 **110** 年

社会貢献活動

2代目伊田勘三郎社長(現会長の父)が、戦後間もない昭和23年に「剣道を通じて地域の青少年の人間形成、心の修練を図る」ことを目的に、東松山市内に「松山尚武館」剣道場を開設しました。その後、「青少年研修道場・明德館」に名称変更し、昭和62年に現在の場所へ移転・新築し、一般市民にも開放しています。

「明德館」を通じた長年の青少年指導と青少年教育に対して、高い評価をいただいています。今後も未来の日本を担う「子供たちに」剣道指導の活動を続けていくことで社会的な貢献に取り組んでいきます。

近年では、クラブ活動としての剣道部の活動も盛んで、全国・関東実業団剣道大会の団体優勝、男女とも全日本剣道選手権の出場者輩出など明德館の剣士から伊田テクノスに入社する社員も出ています



地域建設業としての災害復旧活動

令和元年10月12日～13日かけて関東地方を通過した台風19号は甚大な被害をもたらしました。埼玉県でも堤防が決壊し、緊急対応に伊田テクノスをはじめ県内建設会社が当たりました。

伊田テクノスは東松山市内で災害対応にあたる一方、堤防決壊の緊急復旧にも入りました。このほか堤防維持管理の進めると共に、被災者へのボランティア活動も行う一環で部分的な補修をなど地域建設業としての責任を果すべく協力体制を全力で整えています。





伊田テクノス株式会社

夢ある未来へ……。

創業 **110** 年

土木事業



東松山市都市計画事業 藤曲土地区画整理事業造成工事



ラグビーロード整備(街路)工事



H29高谷地区高潮堤防工事



台風19号堤防決壊 都幾川堤防緊急復旧工事



IDA GROUP

伊田テクノス株式会社

夢ある未来へ……。

創業 **110** 年

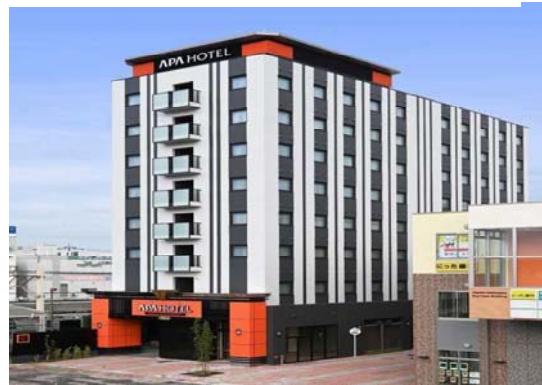
建築事業



はなぞの保育園新築工事



ヤオコー東松山新宿町新築工事



アパホテル《埼玉東松山駅前》新築工事



タグチ工業関東工場新築工事



伊田テクノス株式会社

夢ある未来へ……。

創業 **110** 年

地盤改良事業



地盤改良機



地盤改良工事

住宅事業

ハッピー住宅

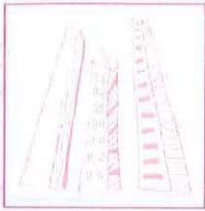


外 観

新築工事



内 観



会員企業 NOW

株式会社 伊田テクノス

一般社団法人
埼玉県建設業協会 会員

「報徳思想」が全社員共有のバックボーン

企業名 伊田テクノス株式会社

所在地 埼玉県東松山市松本町2-1-1

代表者	会長 伊田 登喜二郎	信条	「打つ手は無限」
	社長 榎崎 亘	信条	「決断力」、 「リーダーシップ」 「THINKと実行」

資本金 1億円

沿革 創業1910年(明治43年)に初代伊田勘三郎が土木業として創業、その後砂利採取、建材販売、建築、地盤改良、福祉、太陽光発電など時代の変化に合わせて発展、IDA GROUPでは、昭和62年CI導入し、関連会社との共働体制での発展を目指し現在グループ全体の売上は約450億円、総社員400名と成っています。

グループ企業 伊田テクノス(株) 土木・建築・地盤改良・不動産
報徳石産(株) 砂利・砂の製造・販売 東和アークス(株)
建設資材販売、生コン製造・販売、砂利・砂の製造・販売、石油類販売、太陽光発電関連事業・LED関連事業



榎崎社長(左)と伊田会長(右)



大前門樋(埼玉県古見町) / 昭和4年6月竣工

経営哲学

初代社長より「報徳思想」※を会社経営の基本思想とし、「至誠」「勤勞」「分度」「推譲」の4つの考えを精神的な支柱としています。

そのなかの教えのひとつに「分度：バランスをとる」があります。すべての経済活動は人を幸せにするためにあるので、経済的な安定(会社)と人間的な幸せ(家庭)のバランスを大切に経営に当たっています。

この考えを基本とし『快適な環境づくりを通じて、豊かな地域社会の発展に貢献し、グループの飛躍と社員の幸福を目指します』というグループ憲章を掲げています。

※二宮尊徳が唱えた私利私欲に走る事無く社会に貢献すればいずれ自らに還元されるとの思想。

● 1世紀の礎。私たちは何をしてきたか

私たち伊田テクノスは明治43年の創業以来、約1世紀。「報徳思想」を経営の基本に地域社会に必要とされることを常に心に誓い企業活動を営



伊田テクノスの精神的な支柱「報徳思想」

んでいます。

地域社会・地球環境・顧客・取引先・社員・グループ会社等、私たち伊田テクノスを取り囲む様々な周辺環境により築き支えられた1世紀。そ

れはまさに企業コンセプトである「エコロジカル・リンケージ」そのものです。伊田テクノスは、この歴史も企業財産の礎の一つとして、21世紀を力強く確実に歩んで行きます。

社会貢献活動

2代目伊田勘三郎社長（現会長の父）が、戦後間もない昭和23年に「剣道を通じて地域の青少年の人間形成、心の修練を図る」ことを目的に、東松山市内に「松山尚武館」剣道場を開設しました。その後、「青少年研修道場・明德館」に名称変更し、昭和62年に現在の場所へ移転・新築し、一般市民にも開放しています。

「明德館」を通じた長年の青少年指導と青少年教育に対して、高い評価をいただいています。今後も未来の日本を担う「子供たちに」剣道指導の活動を続けていくことで社会的な貢献に取り組んでいきます。

近年では、クラブ活動としての剣道部の活動も盛んで、全国・関東実業団剣道大会の団体優勝、男女とも全日本剣道選手権の出場者輩出しています。さらに明德館の剣士から伊田テクノスに入社する社員も出ています。



受賞時の写真

優勝時の集合写真



「明德館」研修会

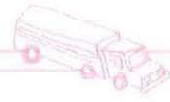


男子関東実業団大会優勝の賞状



女子全日本実業団剣道大会優勝の賞状





地域建設業としての災害復旧活動

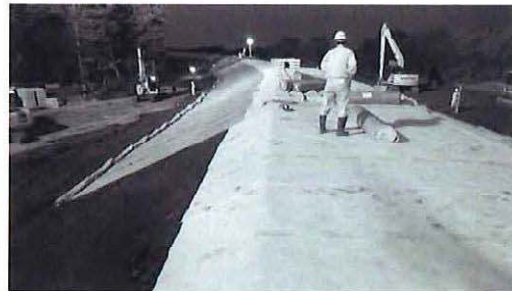
令和元年10月12日～13日かけて関東地方を通過した台風19号は甚大な被害をもたらしました。埼玉県でも堤防が決壊し、緊急対応に伊田テクノスをはじめ県内建設会社が当たりました。

伊田テクノスは東松山市内で災害対応にあたる

一方、堤防決壊の緊急復旧にも入りました。このほか堤防維持管理の一環で部分的な補修を進めると共に、被災者へのボランティア活動も行うなど地域建設業としての責任を果すべく協力体制を全力で整えています。



都幾川堤防緊急復旧現場



都幾川堤防緊急復旧現場

業界にとって「人手」は重要

近年建設業界全体でバブル崩壊後の採用抑制の影響もあり、人手不足となっています。

また、優秀な若手社員ほど流動化も顕著になっています。当社を含め中小クラスの建設業では、自社技術をアピールするなど、これまで以上に仕事の魅力を訴えて行く必要に迫られています。

そのよう中、若手社員から「これまで報徳思想についての社内教育は受けていたが、今回の台風19号の災害復旧ボランティアに参加したことで、これこそ報徳思想の「推譲」を具現化したものであり、伊田テクノスに入社し、地域を守る担い手とし貢献出来たことで、心身ともに一段成長したように感じている。」等の声も出てきています。さらにこれらの体験談を聞いた若手社員の大学仲



東松山市内での社員ボランティア活動

間までが入社希望の意向を示すなど目に見えないワンチーム的波及効果となって現れている。

終わりに

今後、人材育成に力を注ぎ地域に信頼される企業として、安定経営を目指していきます。

第40回建設業剣道大会 新聞記事（日刊建設工業新聞）

「団体戦 伊田テクノスが3年ぶり優勝」

「女子個人 志藤選手（伊田テクノス）が2年ぶり制覇」

第40回建設業剣道大会（日刊建設工業新聞社後援）が東京都港区の日本通運武道場で24日に行われた。団体戦に19社22チーム、女子個人戦には10人が出場。団体戦は予選リーグ、決勝トーナメントを勝ち上がった伊田テクノス（埼玉県東松山市、檜崎巨社長）が3年ぶり22回目の優勝を勝ち取った。女子個人戦は同社の志藤綾子選手が2年ぶり4回目の優勝を飾った。

2019.11.28 日刊建設工業新聞

団体戦 伊田テクノスが3年ぶり優勝

第40回建設業剣道大会

開会式の冒頭、大会委員長の中野夏樹氏（東亜建設工業）は、自然災害の頻発を踏まえ「安全な国土の提供という社会的責任のある業務を担いつつ、心と体を研磨されてい



団体戦を制した伊田テクノスの選手

女子個人 志藤選手（伊田テクノス）が2年ぶり制覇

女子個人戦の入賞者（右から志藤、工藤、小林、岡田の4選手）



A▽シンドウ工業▽鉄建建設▽NI PPOの8チームが決勝トーナメントに進出。決勝戦で伊田テクノスは、シンドウ工業に競り勝ち、優勝杯と日刊建設工業新聞社杯を手にした。

伊田テクノスの佐々木誠監督は「どんな試合でも勝つのは非常に難しいと感じた。3年ぶりに勝って良かった」と喜びを語った。大将を務めた石山邦良選手は「弱い相手がいないのでみんな気持ちを入れていた。1試合1試合、よく頑張ってくれた」と振り返った。3位は清水建設とNI PPOだった。

女子個人戦の決勝は、伊田テクノスの志藤選手が同門対決で工藤礼佳選手を下した。3位は同社の小林日南乃選手とNI PPOの岡田さらさ選手。志藤選手は「どんな大会でも優勝は難しい。1年の集大成として優勝できたことで、良い流れで来年につながる」と語った。

閉会式では中田瑋士審判長（関東管区警察学校名誉師範、江戸川区剣道連盟副会長）が「早朝から素晴らしい、内容の高い試合を見せていただいた」と講評した。

団体戦は午前の予選リーグを勝ち抜いた▽竹中工務店A▽同B▽清水建設▽オールエフテクニカA▽伊田テクノスが開かれた。今回が節目の40回だった。

誌上クラス会 仙台OB会だより 訪問日 12月5日

(青木あすなろ建設、竹中土木、前田建設工業株式会社)

関東緑土会

今回の誌上クラス会「OB会だより」は、12月5日に船越顧問と小林の2名で仙台市内へ会社業務出張をいたしました。この折に仙台市内の緑土会OBの皆さんに出来るだけお会いして、皆さんへ紹介したいと計画しました。突然の訪問であった事と12月初頭であったため皆さんお忙しいお1人のみお会いすることが出来ました。

前は1年前の9月27日に訪問しております。その時の資料は「誌上クラス会 仙台OB会だより 訪問日20180906 20181031」として「関東緑土会だより NO7」に記載しています。ご参考願います。

今回は中村士郎さん(平成3年卒業)にお会いすることが出来ました。中村さんは東京勤務時代の2018年3月22日に訪問して「りよくどNO24」で紹介しております。

30分ほどお忙しい中時間を頂き関東緑土会からは「11月の緑土会総会への出席依頼」「りよくど・関東緑土会だより への記事の提供依頼」「緑土会活動への積極的な参加」など緑土会活動の活性化への協力をお願いし終了しました。

当日訪問しお会いできなかったOB会員は、本藤 敦さん、鈴木一功さん。
訪問者は関東緑土会 船越顧問・小林の2名です。

復興事業が盛んな数年前には、小林がお会いしたのは茅沼修三さん(昭和48年卒業)、青木敏久さん(昭和49年卒業)、鈴木高志さん(昭和49年卒業)、松井秀一さん(昭和54年卒業)吉田 弘さん(昭和59年卒業)の皆さんが仙台におられました。現在は退職されたり転勤されたりと若返りが進んでいます。



中村さん

中村さんと船越顧問



武蔵工業大学 土木工学科 41年3月卒業 土楽会懇親会（集合写真ほか）

武蔵工業大学昭和41年3月卒業 土楽会 懇親会が東京汐留にて令和元年12月4日（水曜日）に開催されました。

緑土会会員が14名参加され、写真等を船越関東緑土会顧問より提供頂きましたので紹介します。

開催日 令和元年12月4日（水曜日）

昭和41年3月卒業生	所在地把握者	83名
	生存確認者	60名
	平成30年出席者	19名
	令和元年出席者	14名

船越関東緑土会顧問より

昭和41年3月以来令和2年3月が来て53年、集まりらしき会が出来てから20数年、橋場会長、菊池副会長のご尽力で東京駅二階、銀座、その他場所は代われ理ましたが、二次会なしのルールで明るいうちに帰宅できる会に変貌しています。

最近は汐留カレッタ46階「北海道」にて13時より15時まで開催しております。

ここは眼下に築地市場跡地、オリンピック選手村、豊洲市場、フジタ本社などを望める大変義場所です。

今回の集合写真などは腕前プロはだしの土田純吾氏にお願いしました。





昭和41年土木工学科卒業 土楽会 菊池副会長（左側）と橋場会長（右側）



懇親会風景



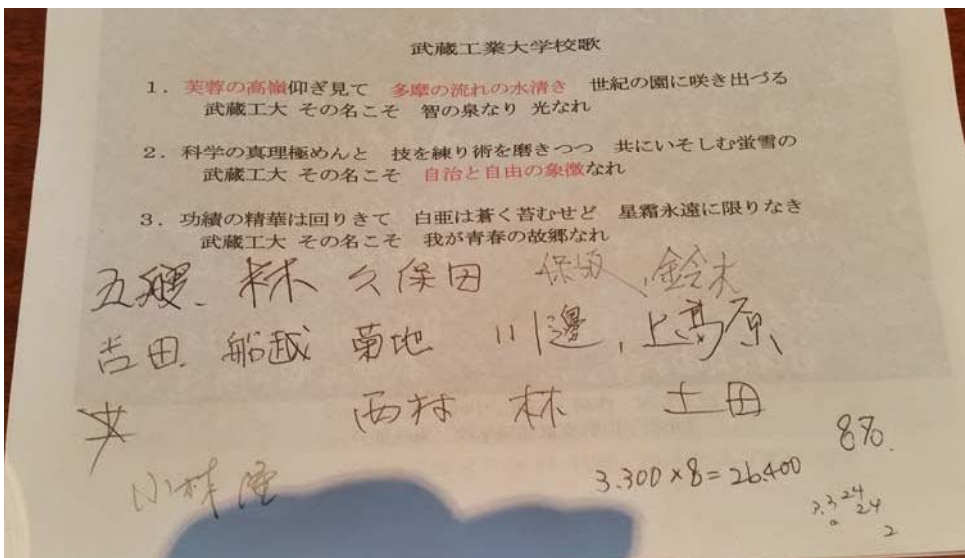
懇親会風景



関東緑土会
船越顧問



関東緑土会
五艘顧問



出席者の自筆サインです

校友会主催「茨城県の歴史と自然・海の幸を満喫するバスツアー ～水戸・大洗・那珂湊を巡る小旅行～」

開催日 2019年12月7日（土曜日）

校友会主催の恒例のバスツアーが2019年12月7日（土曜日）に開催されました。

私(小林)は今回で3回目の参加です。新宿駅西口のバスターミナルより出発し途中校友会茨城支部の皆さんと合流して茨城県の歴史と自然・海の幸を満喫してきました。

生憎の雨模様ということで「国営ひたち海浜公園」はレストラン内でお茶をいただけとなりましたが前衆議院議員の大畠さんも昼食会場で合流され「アンコウの吊し切り」も大畠さんの同級生(大洗の昼食会場の旅館日野冶社長)のご好意により特別に見学することが出来ました。

今回緑土会OB会員は6名(茨城支部2名)が参加されました。記念写真を「梅酒と酒の資料館 別春館」前にて撮りましたので紹介します。

国の重要文化財に指定されている旧弘道館・正庁前で今回のバスツアー参加者の記念写真も合わせて紹介します。

校友会の金子さん初め幹事の皆さんご苦労様でした。また来年を楽しみにしています。



別春館前にて 後列 左側より 船越さん、君山さん（茨城支部）、中埜さん、小林さん
前列 左側より 松浦さん、須藤さん（茨城支部）

緑土会OBスナップ写真



バスツアー参加者全員で記念写真
旧弘道館・正庁前



「関東緑土会総会・懇親会」の開催報告 20191129

11月29日金曜日に「関東緑土会総会・懇親会」が開催されました。

昨年開催以来一年ぶりの開催です。

議題は特になく最近発行した「関東緑土会だより NO20」など各資料を基に今後の活動方針等について話が弾みました。

出席者は、五艘、船越、小林、中山の4名で、例によって何時もの「五艘節」がさく裂、お元気な声でお話しを聞いて元気づけられました。



左より
小林、船越、五
艘、中山の各氏



陸上クラス会 訪問先 一覧

会報「りよくど」 掲載日	訪問日	訪問先				訪問者	
		企業・団体・会合	氏名	卒業年度	備考		
りよくど No.24 (2018/03/31)	2018年3月19日	株式会社 森本組 東京本店	柏原 恵一 石原 正志	S57卒 S58卒		船越 小林	
	2018年3月22日	株式会社 竹中土木 東京本店	安藤 慎一郎 中村 士郎	S57卒 H 3卒		船越 小林	
りよくど No.25 (2018/05/07) 関東緑土会だよりNo.1		ワンダーフォーゲル部 卒部会	船越 靖彦 高崎 智紀	S43卒 現役(1年生)		船越	
	2018年4月18日	ライト工業株式会社 R&Dセンター	横田 弘一 星野 秀太 関 徹也 中山 豊彦	S61卒 H30卒 H 6院卒(機械) S53卒		船越	
	2018年4月20日	大成建設株式会社 横浜支店 土木OB会	佐藤 康天 石井 克典 渡辺 秀昭 大沼 正彦 小林 哲男 岡田 仁 天田 拓	S37卒 S39卒 S39卒 S40卒 S47卒 S48卒 H03卒		小林	
りよくど No.26 (2018/06/05) 関東緑土会だよりNo.2	2018年4月27日	緑土会 大阪訪問 (大豊建設・福田組・鉄 建建設)	松井 秀一 永田 佳敬 大沢 悟	S54卒 S57卒 S58卒(機械)		船越	
	2018年5月17日	東京ソイルリサーチ	田部井 哲夫 伊藤 雅朗 安 浩輝	S53卒 S53卒 H 8卒		船越 小林 中山	
	2018年5月22日	関東緑土会総会・懇親会	五艘章(S41)、川邊富明(S41)、船越靖彦(S41) 小林哲男(S47)、高橋年秋(S48)、鈴木高志(S49) 中山豊彦(S53)、太田一三(S58)				
	2018年5月9日	青木先輩のご逝去の報に接し		S44卒		小林	
りよくど No.27 (2018/07/06) 関東緑土会だよりNo.3	2018年6月2日	福島支部での近況報告	佐藤安宏支部長 関根康孝事務局長 伴野史典幹事	S37卒 S55卒 H 7卒		船越	
	2018年6月21日	京王建設 株式会社	寺門 聰 南 達也 川崎 津良	S53卒 S62卒 H 4卒		船越 小林 中山	
	2018年6月11日	東電設計 株式会社	栗原 美津雄 藤井 健知 黒瀬 浩公	S53卒 H 3卒 H 3卒		船越 小林 中山	
りよくど No.28 (2018/08/15) 関東緑土会だよりNo.4	2018年6月18日	福島支部 OB会	由井 理 (中間防衛・環境安全事業(株)) 佐藤 幸一 (株)千代田コンサルタント 関根 康孝 (株)オリエンタルコンサルタンツ	S51卒 S54卒 S55卒		船越 小林	
	平成30年6月21日	日本のトンネル技術の国 際化と私の活動	太田 義和	S42卒			
	2018年7月7日	千葉支部総会	五艘章(S41)、船越靖彦(S41)、宮崎義昭(S45)、安田茂 (S45)、中村進(S48)、村田慎吾(S51)、松浦弦三郎 (S51)、菅澤浩之(S54)、滝波善裕(S55)、高橋貞夫 (S57)、岡田孝(S59)、北岡聰(S62院)、高柳昌司(H2)、中 町源徳(H7)、久保田融(H12)、保田裕之(H12)				船越
	2018年7月23日	川井しげおを励ます会	川井しげお	S46卒		小林 太田(S56卒)	
りよくど No.29 (2018/09/06) 関東緑土会だよりNo.5	2018年7月2日	株式会社 篠塚研究所	静間俊郎	H 7卒		船越 小林	
	2018年7月26日	飛鳥建設株式会社	袴田 歩 渡邊 康之 川里 麻莉子 早川 英一	S55卒 H 3卒 H22卒 S61卒(機械)		船越 小林 中山	
	2018年8月8日	関東緑土会 鈴木副会長の 送別会	鈴木高志	S49卒		小林	
		「ドボコン」コンテスト作品募集	(社)建設コンサルタンツ教会関東支部 50周年記念イベント				

会報「りよくど」 掲載日	訪問日	訪問先				訪問者
		企業・団体・会合	氏名	卒業年度	備考	
りよくど No.30 (2018/10/04) 関東緑土会だよりNo.6	2018年8月23日	セントラルコンサルタント株式会社	澤田 純一 高橋 芳之 大熊 正人 大野 木隆介 若林 晋平	S58卒 H08卒 H20卒 H27卒 H27卒		船越 小林 中山
	2018年8月20日	エイト日本技術開発株式会社	磯山 龍二 佐々木 秀典	S53院卒 H08卒		船越 小林 中山
	2018年9月13日	奈良建設 株式会社	佐藤 貢一 萩原 邦郎 島倉 徹也 岩崎 和隆	S60卒 H02卒 H06卒 H11卒		船越 小林
	2018年9月5日	東急建設 鈴木関東緑土会 副会長送別会	鈴木高志	S49卒		小林
			「ドボコン」コンテスト作品募集		(社)建設コンサルタンツ協会関東支部 50周年記念イベント	
りよくど No.31 (2018/11/07) 関東緑土会だよりNo.7	2018年9月6日	仙台訪問(緑土会) ・青木あすなろ建設 ・陽光建設 ・前田建設	鈴木一功 峯岸 勇一	S63卒 S51卒		船越 小林
	2018年10月15日	ワンダーフォーゲル部	小池 精一	S54卒		
		日本遺産・谷石文化を巡るツアー開催(案内)				
りよくど No.32 (2018/12/03) 関東緑土会だよりNo.8		特別講義 第8章「グローバル社会における経営」		経営システム工学科		
	(2018/9/13) 2018年10月22日	三信建設 株式会社	島野 嵐 大沢 一実 山崎 淳一 原田 良信	H09卒 S52卒 S57卒 H11卒		船越 中山
	2018年11月8日	株式会社 カナコン	大木 唯嘉 花上 幸弘	S59卒 H07卒		船越 中山
	2018年11月7日	「日本遺産・大谷石文化」を巡るバスツアー開催		校友会主催		小林
りよくど No.33 (2019/1/23) 関東緑土会だよりNo.9	(2018/10/1) 2018年11月15日	川田工業(株)	街道 浩	S60年卒		(船越 中山) 小林・中山
		オーストラリア紀行記	小林			
	2018年12月20日	幹事忘年会 (小林会長 高橋服会長 船越顧問 中山幹事)				
りよくど No.34 (2019/1/23) 関東緑土会だよりNo.10	2018年12月13日	大日本コンサルタント株式会社	齋藤 哲郎 新井 聖司	S58年卒 (S60年院卒) H18年環境情報学科卒		船越 中山
	2019年1月11日	鈴木副会長 近況報告				
りよくど No.35 (2019/3/8) 関東緑土会だよりNo.11	2019年1月30日	株式会社 横河ブリッジ	山下 祐次 山浦 昭洋 永田 孝 渡邊 秀貴 小澤 明弘	S58年卒 H 3年卒 H 4年卒(H 6年院卒) H 8年卒(H10年院卒) H26年卒		船越 中山
	2019年2月2日	茨城県 武工会 平成31年総会に出席させて戴いて				
りよくど No.36 (2019/4/9) 関東緑土会だよりNo.12	2019年2月18日	ケミカルグラウト株式会社	菊地 孝明 唱 伸吾 渡邊 陽介 岩崎 結子	S53年卒 H10年卒 H17年卒 H19年卒		船越 中山
	2019年2月28日	日本ファブテック株式会社	西本 哲也	S56年卒(S58年院卒)		船越 中山
	寄稿文	「現場に育てられた 土木人生」 (株)フジタ		新藤 敏則	S55年卒	

会報「りよくと」 掲載日	訪問日	訪問先				訪問者
		企業・団体・会合	氏名	卒業年度	備考	
りよくと No.37 (2019/5/10) 関東緑土会だよりNo.13	2019年4月19日	大成建設株式会社 横浜支店土木OB会にて	佐藤 石井 大沼 小林 岡田 白戸 天田 立石	S37年卒 S39年卒 S40年卒 S47年卒 S48年卒 S56年卒 H3年卒 S55年卒(機械)		小林
	2019年3月25日	佐藤工業株式会社 職場支部「武佐工会」だより ～新藤支部長お疲れさま会～	西村 聡 新藤 修 武井 秀永 中原 哲郎 三澤 啓之 宮澤 竹久 永尾 浩一 和田 圭二 立儀 美 新井 崇聖 平野(田中)絵里子 飯塚 建 田村 隆旺 金田 智之	S.50年卒 S.57年卒 S.58年卒 S.59年卒 S.62年卒 S.63年卒 H.6年卒 H.9年卒 H.22年卒 H.25年卒 H.26卒年 H.26卒年 H.27卒年 H.28卒年 H.31卒年		船越
		誌上クラス回 訪問先一覧 (2018/3～2019/3)				
りよくと No.38 (2019/6/2) 関東緑土会だよりNo.14	2019年5月18日	「都庁」の 武蔵工大の同窓会	樋口友行 小口慎吾 他39名	H.03年卒 H.01年卒		
	2019年5月13日	「一般財団法人 首都高速 道路技術センター」 緑土会OB訪問	八崎弘昌	S57年卒		船越
りよくと No.39 (2019/6/) 関東緑土会だよりNo.15	2019年5月13日	誌上クラス会「OB会だより」 (一財)首都高速道路技術セ ンター、首都高速道路(株)、首 都高技術、首都高メンテナンス 西東京、首都高メンテナンス神 奈川、首都高機械メンテナ ンス、元首都高速道路	八崎弘昌	S57年卒		
	2019年5月25日	「校友会 福島支部」 緑土会OBだより 集合写真	緑土会会員 17名 原口会長他10名 (計27名参加)			
りよくと No.40 (2019/7/31) 関東緑土会だよりNo.16		印象的な業務とその後の活 動(山登りの記録) (日本工営株式会社)	重田 哲朗	S.39年卒		
	2019年6月4日	緑土会OB訪問 五洋建設株式会社	松尾 史郎	S.57年卒		船越
		五洋建設株式会社 職場支 部「五洋柏会」だより	谷口 修	H.10年卒		
	2019年7月6日	緑土会OB訪問 校友会 千葉支部総会				
	2019年7月4日	「大成建設株式会社横浜支 店」 「トップライズ株式会社関東支 社」	小林 哲男 太田 一三 三木 洋人 土橋 功	S.47年卒 S.56年卒 S.61年卒 S.62年卒		
	2019年7月8日	緑土会OB訪問 世紀東急工業株式会社	平本 公男	S.53年卒		小林 船越
	2019年7月8日	緑土会OB訪問 青木あすなろ株式会社	市毛 一宏	S.58年卒		小林 船越
	2019年7月19日	緑土会OB訪問 トップライズ株式会社	太田 一三 浅野 研一	S.56年卒 S.52年卒		小林 船越

会報「りよくと」 掲載日	訪問日	訪問先				訪問者
		企業・団体・会合	氏名	卒業年度	備考	
りよくと No.41 (2019/ 8 /30) 関東緑土会だよりNo.17		寄稿文 「応援歌・緑土音頭の心意気」	五艘 明	S.41年卒		
		誌上クラス会「OB会だより」 株式会社 フジタ	進藤 敏則 伏島 豊太 小林 健 柴田博之	S.55年卒 S.58年卒 H.05年卒 H.11年卒		
	2019年6月18日	武蔵工業大学 ワンダーフォーゲル部 OB会だより	船越 靖彦 重田 哲朗	S.41年卒 S.39年卒		
	2019年8月2日	前東京都議会議長「川井しげおを励ます会」	小林 哲男	S.47年卒		
	2019年7月22日	緑土会OB訪問 若築建設株式会社 東京支店	田村 康幸	H.02年卒		船越 中山
	2019年8月1日	緑土会OB訪問 株式会社総合技術 コンサルタント 東京支店	山本 晃弘	H.11年卒		小林 船越 中山
	2019年8月8日	緑土会OB訪問 一般社団法人 港湾空港 総合技術センター	保坂 鉄矢	S.41年卒		船越
	2019年8月6日	緑土会OB訪問 東洋建設株式会社	金子 修司	H.02年卒		船越
	2019年8月6日	緑土会OB訪問 東亜建設株式会社	皆川 昌司	H.03年卒		船越
	2019年8月20日	緑土会OB訪問 株式会社ビー・ピー・エム	高野 真	H.09年卒		船越
りよくと No.42 (2019/ 9/30) 関東緑土会だよりNo.18	2019年7月22日	誌上クラス回「OB会だより」 若築建設株式会社	田村 康幸	H.02年卒		船越 中山
	2019年9月7日	校友会 埼玉支部総会・懇親会	岡村 和之 萩原三尚七夫 伊田登喜三郎 他13名	S52年卒 S24年卒 S49年卒		船越
	2019年9月20日	緑土会OB訪問 本間道路株式会社	田中 敏晴	S.47年卒		船越
	2019年9月13日	緑土会OB訪問 「地盤技術フォーラム2019」	・三信建設工業(株) ・ライト工業(株) ・ケミカルグラウト(株) ・(株)不動テトラ			船越
りよくと No.43 (2019/10/31) 関東緑土会だよりNo.19	2019年10月4日	緑土会OB訪問 東京都下水道サービス 株式会社	堀口 祐介	S.57年卒		船越
	2019年10月29日	前東京都議会議長「川井しげお氏旭日中綬賞を祝う会」	川井 重勇 鈴木 進 寒川 正信 小林 哲男 大滝 允司 太田 一三	S.46年卒 S.46年卒 S.46年卒 S.47年卒 S.56年卒 S.56年卒		小林
	2019年7月18日	「OB会社の活躍の紹介」 トップライズ株式会社 (東京都市大学での測量学講座)	大滝 允司 太田 一三	S.56年卒 S.56年卒		
		ワンダーフォーゲル部 (昭和41年卒業) 「昭和39年 夏合宿の思い出と慰霊」	船越 靖彦	S.41年卒		
りよくと No.44 (2019/11/) 関東緑土会だよりNo.20	2019年11月26日	緑土会OB訪問 伊田テクノス株式会社	伊田 登喜三郎	S.49年卒		船越 中山
	2019年10月22日	緑土会OB 感傷旅行記 (2019_10_22~23)	船越 靖彦	S.41年卒		
	2019年 8月	ドイツ・ベルリン旅行時に見た地下鉄工事風景	小林 哲男	S.47年卒		